

本学教員の研究課題が AMED 創薬総合支援事業（創薬ブースター）の創薬支援ネットワーク支援シーズに採択されました。

2021 年 04 月 1 日

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）は、創薬支援推進事業—創薬総合支援事業（創薬ブースター）の創薬支援ネットワーク支援シーズにおける新規採択研究課題を決定し、本学から 1 件の研究課題が採択されました。

檜垣 克美 准教授 研究推進機構研究基盤センター副センター長

「ムコ多糖症 II 型脳病態に有効な新規低分子アロステリックシャペロン薬の探索」

創薬ブースターは、AMED が策定した知財戦略、研究戦略に基づき、アカデミア研究者が保有する、実用化の可能性が高いと判定された創薬シーズ（新標的・新物質）を理化学研究所、医薬基盤・健康・栄養研究所、産業技術総合研究所等の創薬支援ネットワーク構成機関が保有する創薬技術や設備等を活用し、創薬候補化合物の検索、構造最適化、非臨床試験等を切れ目なく支援するものです。また、創薬ブースターによって得られた成果については、確実に医薬品としての実用化につなげるため、AMED 創薬事業部による製薬企業等への導出等に係る支援が行われます。なお、支援の実施に必要な経費は、民間研究開発受託機関等への委託試験経費も含め、原則として、創薬事業部若しくは技術支援を実施する創薬支援ネットワーク構成機関が負担します。

詳細な支援情報は AMED の以下のサイトをご覧ください。

【参考】

https://www.amed.go.jp/program/list/11/02/theme_list.html